

記入年月日：令和 8年 3月 26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		定員に対し十分な広さを確保し、仕切りの活用により個別学習と集団活動の空間を両立させています。状況に合わせた環境設定で、安心・集中できる場を提供しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		法定基準を上回る人員を配置し、お子様一人ひとりの特性や活動内容に応じた手厚い支援体制を整えています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		視覚支援（スケジュール掲示等）で活動場所を明確に構造化しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		衛生管理を徹底し、環境を整えています。プログラムに合わせて配置を調整し、粗大運動から個別学習まで、子どもたちの活動内容に最適化された空間構成を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		定期的に職員会議や振り返りの機会を設け、PDCAサイクルに基づいた業務改善に取り組んでいます
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		年1回アンケートを実施し、保護者の皆様のご意向を真摯に受け止めています。集計結果は速やかに公表するとともに、スタッフ会議で共有して支援内容や運営の改善に反映させ、サービスの質向上に繋げています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		両評価の結果を真摯に受け止め、スタッフ会議で改善案を協議・実行しています。評価結果と改善への取り組みについては、ホームページ等で公開しております、
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		外部評価機関による客観的な評価を取り入れ、事業所の強みと課題を明確化しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		専門職による研修を定期的に行っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		サービス担当者会議を開き、アセスメントを実施し、児童および保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、一人ひとりに応じた児童発達支援計画の作成に務めています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		定期的にアセスメントを実施し、主観に頼らない的確な現状把握に努めています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		児童発達支援ガイドラインに基づき、「本人・移行支援」「家族支援」「地域支援」の各領域からお子様の状況に応じた項目を適切に選択しています。アセスメント結果に基づき、各領域が連動した具体的な支援目標を設定することで、日常生活の質の向上と社会参加を見据えた一貫性のある計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		職員間で個別支援計画の目標を常に共有し、日々の声掛けや補助に反映させています。半期ごとのモニタリング結果に基づき、必要に応じて計画の見直しを行うことで、お子様の発達段階に即した実効性の高い支援を継続しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		特定の職員に偏ることなく、スタッフ全員でプログラム内容を協議しています。日々の振り返りで得た気づきを即座に立案に反映させる体制を整え、チーム全体で一貫性のある支援を提供しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		STの日、音楽療育、PTの日、季節の製作、課外活動として畑、ソーシャルスキルトレーニングに取り組んでいます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		子どもの状況に応じて、個別療育と小集団療育を同日に組み合わせた支援計画を作成しています。

17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	支援の前にミーティングを行い確認しています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	支援の結果を踏まえて、次回の支援内容を話し合っています。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	支援の記録により、日々の変化を可視化しています。蓄積された記録をもとに、スモールステップの達成度を客観的に評価し、お子様の成長に合わせた最適な支援手法のアップデートを継続的に行っています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	定期的なモニタリング期間を遵守し、個別支援計画の有効性を検証しています。お子様の発達段階や保護者様の意向を再確認し、目標のステップアップや支援手法の修正が必要な場合は速やかに計画を更新する体制を整えています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	お子様の特性や日々様子を最も把握している児発管および主任保育士が必ず参画し、専門的な見地から意見述べています。管理者も同席することで、事業所全体のバックアップ体制を含めた包括的な支援提案を可能にしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	行政の相談窓口や、地域の保育園・幼稚園等と定期的な連携を図っています。関係機関会議への参加や情報交換を通じて、地域の社会資源を最大限に活用し、お子様とご家族を多角的に支える体制を整えています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	移行期には就学先や在籍園とのケース会議を積極的に実施し、お子様の特性や有効な支援手順を引き継いでいます。相手方の教育・保育方針も尊重した上で、共通の理解に基づいた切れ目のない支援ネットワークの形成に努めています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	個人情報保護を徹底し、保護者の同意に基づいた適切な情報共有を行うことで、関係機関との確実な支援連携を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	関係機関の連携を行っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	夏祭りのイベントなどで、関わりを作っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	地域の関係者会議に参画し、行政や他機関との顔の見える関係性を構築しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	連絡帳や口頭でのやり取りを密に行い、お子様の事業所での様子のご家庭での様子を相互に伝え合っています。モニタリング等の機会には、専門的な視点から発達の現状を分かりやすく共有し、保護者様と同じ歩幅で目標に向かっていける信頼関係の構築に努めています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	フィードバックの時など、相談を受け付け、子どもの状況に応じた関わり方や対応方法を助言しています。	
保護者へ	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	契約に際し、運営規程や利用者負担等の重要事項について対面で詳細な説明を行っています。負担額の算定根拠や欠席時の扱い等、特に重要な点については重ねて周知を図り、透明性の高い契約手続きを徹底しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	ガイドラインに沿った支援項目と、お子様の現状に合わせた具体的な活動内容を対照させながら丁寧に解説しています。目指すべきゴール(ねらい)をご家庭と共有し、十分な理解と納得を得た上で、個別支援計画への署名・捺印をいただく手順を徹底しています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	保護者様が一人で悩みを抱え込まないように、いつでも相談できる開かれた体制を整えています。お子様の特性に合わせた家庭での接し方や環境設定について、具体的な事例を交えながら助言を行い、事業所とご家庭が協力してお子様の成長を支え合える関係性を築いています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	保護者のニーズを確認して開催を検討しています。

の 説 明 責 任 等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	相談・苦情の受付窓口を常設し、契約時や掲示物を通じて保護者様へ周知しています。小さな要望や懸念事項であっても、日々のコミュニケーションの中で早期に汲み取り、チームで共有して即座に改善・対応を検討することで、問題の長期化を防ぎ、安心感のある運営に努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	SNSを活用して発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	個人情報の適切な管理を行っています。書類の持ち出し禁止や破棄時のシュレッダー処理など、日々の業務における取り扱いルールを明確化しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	お子様に対しては、視覚支援（絵カードや写真、スケジュール表）を活用し、見通しを持って活動できるよう配慮しています。保護者様に対しては、専門用語を避けた分かりやすい説明を心がけるとともに、対面、連絡帳、電話など、ご家庭の状況に合わせた柔軟な伝達手段を選択し、確実な意思疎通を図っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	イベントに地域の方を招待しています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	地震・火災・不審者など、月替わりで発生源を想定した訓練を行い、役割分担（誘導・通報等）を明確にしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	火災・地震・水害など、季節や天候に応じた発生原因別の避難訓練を計画的に実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	契約時に「アレルギー・既往歴・予防接種記録・てんかん発作の有無」を網羅した聞き取りシートを用い、保護者から直接詳細を確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	保護者に事前に確認をして、同意を受けたうえで、提供しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	事業所でファイルを保管しており、職員で確認をしています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	現場での違和感をすぐに相談できるよう、ケース会議や朝礼で事例を共有し、特定のスタッフが抱え込まない体制を構築しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	身体拘束を行う場合の「緊急止むを得ない3要件（切迫性・非代替性・一時性）」を定義し、個人の判断ではなく管理者を含めた組織会議で実施の可否を決定する体制を整えています。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。